

【男性の御神霊が犯した罪】

男性の御神霊が犯した罪で共通することは、気に入らない人間に対して戒告かいこくを与えて殺したり、大怪我をさせたりしたことです。

5 御神霊が気に入らない人間とは、主に、願いを叶えたのに約束を破った人間のことです。

例) 不漁が続いて困っていた網元が、大漁を祈願して、叶ったら100万円御奉納する約束をしました。

10 そこで氏神様は、そのお金があれば神社の傷んだ場所を修復できると思い、網元の願いを叶えてあげました。

しかし網元は、色々とかさんでいた支払いを返済していたら、最初に約束をした金額が御奉納出来なくなってしまったので、残っていた5万円しか御奉納しませんでした。

15 この網元の行いが、願いを叶えた氏神様を怒らせたので、氏神様は網元に戒告を与えて殺してしまいました。

この時、網元が取るべき行動は、まず先に約束した金額を神社へ御奉納して、一応のお礼を申し上げてから、“次にも大漁にして下さい。”とお願いすれば良かったのです。

20 このように対応していたならば、氏神様から見れば【約束を守る可愛い人間】として認めて貰えるわけですから、その者が困るような仕組み（返済の苦勞）が起こらなくして下さるのです。



人間を傷つけるということは…

25 ① 『神』のお身体からだの一部を傷つけたことにより罪になります。

② 天国文明の建設要員の数を減らしたことで『神』の御計画かみを邪魔した罪になります。

30 戒告かいこくを与えるということは…

地上を担当する神であっても、人間を裁く権限さばまでは与えられていないので、越権行為えっけんこういの罪になります。

35 気に入らない人間に対しては、戒告を与えるのではなく、放っておけば良いのです。その人間に対しては、戒告役の方が影響を与えます。 ※戒告役は《46P》にて解説

何回も行うことで、段々と霊力が弱まり、気が付いたら神界の牢屋へ押し込められているので、霊格が下がってしまった理由に気が付きません。

40 神社の建物等がみすぼらしい場合は、その神社の御祭神が神界の地獄に落とされている証拠です。

御祭神が救われて、元の神格に戻れば、願いを叶えて下さったから等の理由で自然に御奉納が集まって改装されたり、清掃のご奉仕が行き届くようになり、神社はだんだん
45 綺麗になっていきます。